

全国高校生復興デザインコンペ2021 募集要項

複合災害と新たな都市像

災害は忘れた頃にやってくる。長い時間、地域で暮らしていれば、災害に直面することもあるでしょう。災害が一度起きれば、地域の存続そのものが左右されることになります。危機に直面した地域で、わたしたちは、身の回りの暮らし、経済、文化の問題解決を迫られることになるでしょうか。そのとき、私たちは、何を頼りに、復興のための道筋を描けばいいでしょうか。「地域のよりよい理解」を下敷にした「災害復興への備え」を考えることが今求められています。

そこで全国の高校生から、地域を災害から守るための「事前復興プラン」を募集します。

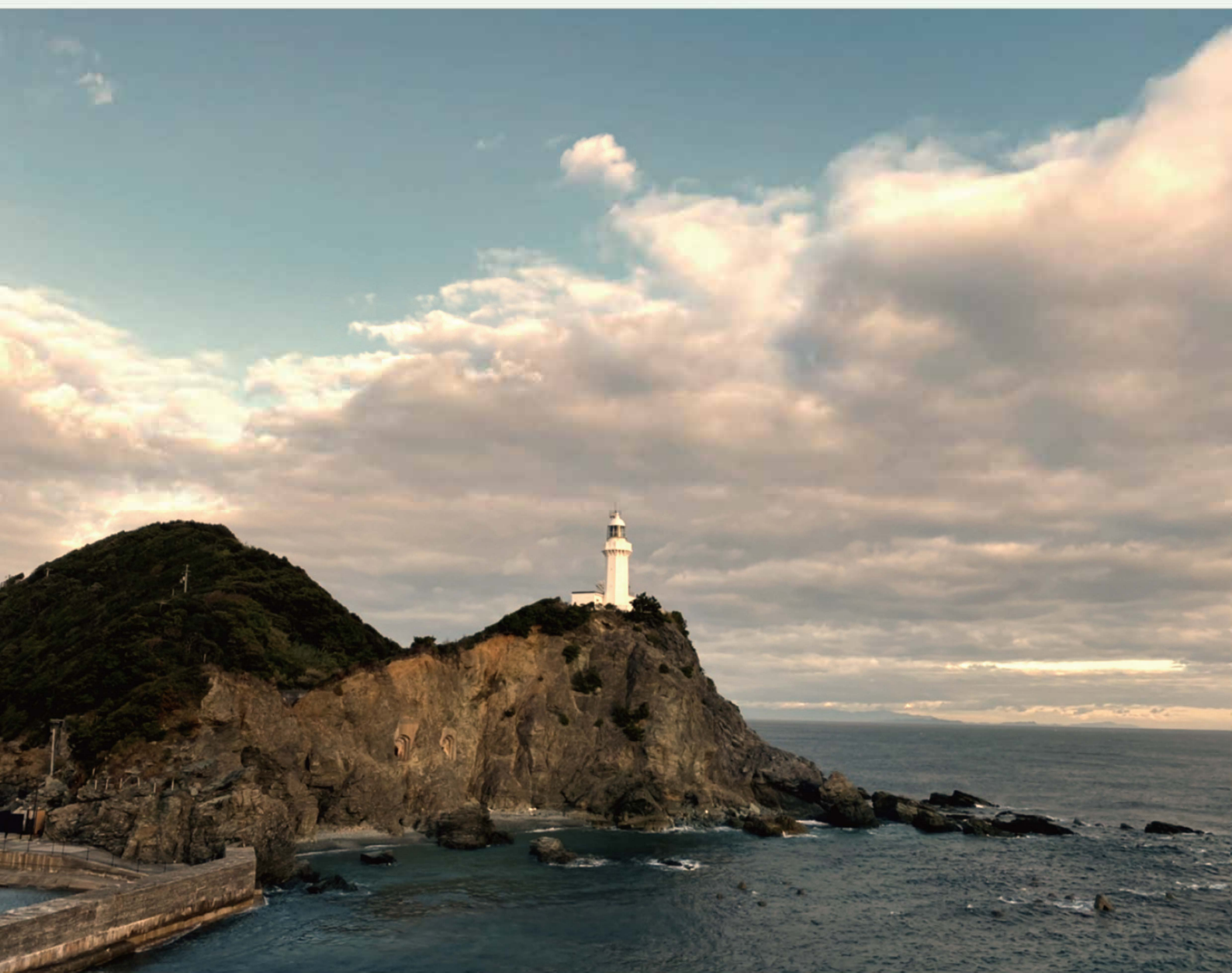
一次選考を通過したチームには、11月27日、28日に実施される復興デザイン会議全国大会にて発表し、最終審査に挑んでいただきます。ぜひ一緒に地域についてよく考え、私たちにできることを考えていきましょう。

●審査委員

審査委員長 羽藤英二（東京大学）

菊池雅彦（国土交通省）、佃悠（東北大学）、宮崎保通（復建調査設計株式会社）

牧澄江（アジア航測株式会社）、益子智之（早稲田大学）、小関玲奈（東京大学）



募集要項

●開催概要

全国高校生復興デザインコンペは、「地域のよりよい理解」を下敷にした「災害復興への備え」を推進すべく、地元の高校生からアイデアを募集し、地域での実践活動へ接続していくことを目的とした大会です。地域の地理の総理解、地理的課題の抽出と災害シナリオの作成、事前復興計画の策定までを行っていただき、その成果を復興デザイン会議全国大会にて発表していただきます。

「事前復興」という言葉を初めて聞く高校生のみなさんも多いことでしょう。地域を分析する方法や事前復興計画の考え方について、東京大学、愛媛大学の教授、学生がサポートします。Slackというコミュニケーションツールを通じ、進め方の相談やプランへのアドバイスをしていきますので、ぜひ安心してご参加ください。また、10月にZoomにて中間報告会を行い、地域分析やプランについてブラッシュアップの機会を設けます。

地域で生きる私たち自身が、さまざまな世代の人々とともに、自ら地域を歩き、語りあい、問題を発見すること。さまざまな声に耳を傾け、懸命に考えること。そうして得られた地域のよりよい理解に基づいて、地図を囲んで線を引き、地域の復興と災害への備えを描くことに、ぜひ一緒に取り組んでみませんか？

●参加資格

全国の高等学校・高等専門学校の学生。

中等教育学校の場合は後期課程の生徒(4~6年生)。個人・グループは問わない。

●参加方法

8月31日までに、[こちらのGoogle Form](#)より参加登録を行ってください(参加団体ごと)

●賞

最優秀賞1点、優秀賞2点、防災地理部活動賞

●最終提出物 (参加登録、中間報告会后、10月末締め切り予定)

事前復興プランをポスター・スライド・動画等にまとめたもの(中間報告会后詳細連絡)

●スケジュール

- ・2021年8月31日 申し込み締め切り
- ・2021年9月~10月 中間報告会・エスキース
- ・2021年10月末頃 最終提出物締め切り・一次審査
- ・2021年11月27日 二次審査(最終発表)

[参考] 2020年度防災地理部活動報告

昨年度の最終発表は、ページ最後に掲載している動画のようにプレゼンテーション形式で行いました。

防災地理部 2020HP http://bin.t.u-tokyo.ac.jp/bousai_20/

【参加申し込み】<https://forms.gle/jDjkQJpwnU6fqMq8>

右のQRコードからお申し込みいただけます。

【主催】 復興デザイン会議

【お問合せ】 [koseki\[at\]bin.t.u-tokyo.ac.jp](mailto:koseki[at]bin.t.u-tokyo.ac.jp) (担当:小関、増田) ([at]を@に置き換えてください)

申し込み登録前の疑問や相談等、お気軽にお問い合わせください。

